

車両システム OTA のアップデート

+ 装備されている場合

OTA(Over-the-Air)ソフトウェアアップデート機能により、ソフトウェアを最新バージョンにワイヤレスでアップデートすることができます。この機能を使用すると、車両システムのソフトウェアを最新の状態にしておくことができます。

ソフトウェアのダウンロード

最新版ソフトウェアは運転中に自動でダウンロードされます。最新版ソフトウェアのダウンロードが正常に終了すると、携帯電話や車両の画面にソフトウェアのアップデートが利用可能であることを示す通知が届きます。

ソフトウェアアップデートの承認



車両の電源をOFFにすると、車両システムによりアップデートの開始が許可されます。

- アップデートを開始するには、「**今すぐ更新**」(1)を押します。
- アップデートを延期するには、「**あとで**」(2)を押します。

ソフトウェアアップデートの準備

画面の「**今すぐ更新**」ボタンを押すと、車両は自動的にアップデートのインストールを開始します。以下の条件が満たされている必要があります。

- 車両の電源がOFFになっている。
- ギアがP（パーキング）に入っている。
- 電動パーキングブレーキ（EPB）が作動している。
- エクステリアライトが消灯している。
- ボンネットが閉まっている。
- バッテリーの充電が十分である。
- アップデートするシステムが作動中でない。

i 情報

バッテリーとシステムの状態は車両が自動的にチェックします。



- すぐにアップデートするには、「**すぐに更新**」を押します。
- アップデートをキャンセルするには、「**更新取消し**」を押します。

ソフトウェアのアップデート



画面でアップデートの進行状況を確認できます。

アップデートが完了すると、スマートフォンアプリや車両の画面にソフトウェアのアップデートが完了したことを示す通知が届きます。

i 情報

バッテリー節約のため、画面は3分後に自動的にOFFになります。画面が自動的にOFFになった場合、EV START STOPボタンを押すとアップデートの進行状況を確認できます。

i 情報

- アップデートが開始されたら、車両から降りることができます。
- OTA ソフトウェアアップデート機能は、Bluelink のユーザーのみご利用いただけます。
- アップデートの詳細は、インストール済みのソフトウェアバージョンにより異なる場合があります。
- OTA ソフトウェアのアップデートについては、Hyundai Mobility Japan 公式ホームページでお知らせをご確認ください。
- アップデートに失敗すると、アップデートのリカバリーが自動的に開始されます。ソフトウェアのアップデートを再度試みる際は、リカバリーが正常に終了した場合でも、弊社認定修理業者にご連絡いただくことをおすすめします。
- アップデートやリカバリーが失敗した場合は、Hyundai カスタマーセンターにご連絡いただくことをおすすめします。
- アップデートが完了すると、新機能や改良点が含まれている場合があります。詳細については、ヒョンデブランドウェブの「OTA ソフトウェアアップデート」ページを確認するか、画面のQRコードをスキャンしてください。

知識

- アップデート中には、以下の制限事項に注意してください。
 - アップデート中は車両を使用することができません。アップデートに十分な時間を確保し、アップデート処理を開始する前に車両を安全な場所に停車してください。
 - リモート始動など、リモート機能は使用できません。
 - 後部座席乗員通知機能は動作しない場合があります。後席に乗員がいないか確認してください。
- アップデートを開始する前にアップデートに必要な車両条件が変更されると、アップデートが自動的にキャンセルされます。
- アップデートが開始されると、アップデートをキャンセルすることはできません。
- 車両ソフトウェアを変更したり入れ替えたりした場合は、OTA ソフトウェアアップデート機能を使用することはできません。
- アップデート中にボンネットを開けたり、バッテリーを交換したりしないでください。アップデートが失敗する可能性があります。
- 車両 OBD（車載式故障診断装置）端子に何らかの診断ツールが接続されている場合、車両のアップデートを行うことができません。OBD 端子に接続された診断ツールを取り外し、車両を再始動することで、車両のアップデートを行うことができます。
- アップデートが正常に完了しなかった場合は、弊社認定修理業者にご連絡いただくことを強くおすすめします。